

東日本大震災の復興

先進的な取り組みを

国交省・環境部会

国土交通省の社会資本

本整備審議会・交通政策審議会交通体系分科会の両部会では11日の合同会合で、東日本大震災の復興に向けて環境面からの基本的な考え方を整理した。この中で、日本の環境政策が世界に誇れるものであり続けられるよう、今回の震災を契機に省エネルギー・再生可能エネルギーの先進的な取り組みを展開していくことが重要と指摘。約2200万トンの災害廃棄物は、海岸堤防や公園緑地、宅地盛土のほか、バイオマスのエネルギー源などとして活用すべきとした。

東日本大震災は、甚大な人的・物的被害をもたらすとともに、発電施設の損壊による電力不足の発生により、エネルギー政策の在り方についても大きな議論を投げ掛けた。

熱エネルギー有効利用研究会

認定制度の創設を提言

経産省

経済産業省の「まちづくり」と一体となった熱エネルギーの有効利用に関する研究会(座長・柏

本孝夫東京工業大学教授)は4日の会合で、都市開発の際の未利用エネルギー活用に関する中間報告をまとめた。都市廃熱などのエネルギーを有効利用した開発計画を国が認定し、インセンティブを与える新制度の創設を提言。経産省と国土交通省が連携し、認定制度と連動した補助制度を創設することも求めた。

研究会は、東日本大震災の影響に伴う電力不足を、未利用エネルギー(都市排熱、下水熱、太陽熱、河川熱など)の活用拡大で補うため、現行制度の課題や推進策などを議論した。

中間報告に盛り込まれた認定制度は、熱の有効利用によって高い省エネ性能を満たす計画を国(経産省、国土交通省)が認定するもの。計画段階だけでなく、運用段階を含めて評価できる枠組みを検討するよう促している。

認定された計画を対象とする補助制度の創設も提言し、経産省と国交省が連携して予算措置するよう求めている。

また、都市基盤施設を複合化して熱エネルギーを活用するモデルプロジェクトの実施も提案し

ビルディングドクター資格講習

申込みは来月19日まで

BEELCA

建築型社会の形成に当たっては、約2200万トンの災害廃棄物の適正・有効利用が重要と指摘した。具体的には、津波や高潮からの安全性を確保しつつ、環境負荷の少ない市街地を形成するため、海岸堤防、公園緑地、宅地盛土などへののれきの活用を促進。また、木材などのバイオマスについては、エネルギー源として活用すべきとした。住宅や公共施設の建設に際しては、地域資源を有効活用する観点から、木材利用を推奨した。

「非構造」の資格取得講習を9月から10月にかけて全国3カ所で開催。福岡は10月5・7日に博多区の福岡建設会館で行う。受講申し込みを8月19日まで受け付けている。同技術者は、建築士上げやコンクリート部分の物理的劣化や安全性などを診断し、適切な維持保全策を提言する。

受講資格は、外壁・防水施工時の検査・診断実績を5件以上持つ建築士などの有資格者など。講習は3日間、修了試験を含め19時間。テキスト代を含む受講料は5万4000円。登録料(1万5000円)を支払った修了者合格者を支出した。23年度から計画期間は、23年度から

県職能開発計画骨子案

来月8日まで意見募集

県は、今後の職業能力に関する取り組みの方向性を示した「第9次県職業能力開発計画」の骨子案に関する意見を8月8日まで募集する。

計画期間は、23年度から27年度までの5カ年。県では寄せられた意見も参考にして本計画を策定する方針。

骨子案は県ホームページや県庁内の県政情報センター、各地域振興局、各支庁の総務企画課などで閲覧できる。



ナンニチホーム完成見学会

デザインに興味津津

ナンニチホーム(有)アルナンニチ、霧島市国分で完成見学会を開催。終日大勢の家族連れらでにぎわった。写真。

物件は、W2階建て、ベ133㎡のシンブルモダンな家。「使い勝手はもとより、デザイン重視」と言うオーナーのこだわりが随所に垣間見える建物。室内に入ると、リビングの中央の吹き抜けが開放感と優雅さをなお一層引き立てている。また、和室や2階吹き抜け部の明かり窓一つにしても、デザインと素材選びにこだわったオーナーの思いが伝わってくる仕上がりとなっている。

見学会に登場した男性は「レトロ調の梁や柱を表面に見せることで、家の雰囲気をモダンでオシャレなたたずまいにうまく表現している。素晴らしいですね」と満面の笑みで答えた。また「階段を上がってすぐの所に備え付けられた2階の洗面台はひととき目を引きました」と話した。



かごしま電工

かごしま電工(株)(道山勝成社長)は12日、鹿児島市日本赤十字社支部を訪問し、東日本大震災への義援金を届けた。写真。

同日は、柳田明常務取締役をはじめ、同社社員会の奥沢義文会長、総務部兼業務部仕入管理課の日高詩子主任が窓口を訪問し、大山宏組織振興課長に義援金を手渡した。今回の義援金は、同社社員会一同からの募金と同社主催の「びっくり市」の収益金の一部、同イベント来場者からの善意の寄付など。

支庁の総務企画課などで意見の提出先、問い合わせは、県雇用労政課公共訓練係(099・286・3021)まで。

開催から50回目を迎えた同会。当日はこれまでの歩みを映像などで振り返るほか、(株)や代表取締役会長の矢頭美世子氏(九州ニュービジネス協議会副会長)による記念講演が行われる。

このほかビジネスプレゼンテーションでは、(株)ストーンワークスなど過去に発表した企業5社による近況報告がある。

申し込み、問い合わせは、同センター新産業育成課(099・2119・1272)まで。

「二水会」50回記念大会

来月5日まで受付

かごしま産業支援センターなどが主催するベンチャー・プラザ鹿児島「二水会」の第50回記念大会が8月10日午後3時から、鹿児島市の鹿児島東急インで開かれる。参加費3000円(講演のみは無料)。申し込みは同月5日まで受け付ける。

平成11年2月の第1回大会から50回目を迎える。当日はこれまでの歩みを映像などで振り返るほか、(株)や代表取締役会長の矢頭美世子氏(九州ニュービジネス協議会副会長)による記念講演が行われる。

このほかビジネスプレゼンテーションでは、(株)ストーンワークスなど過去に発表した企業5社による近況報告がある。

申し込み、問い合わせは、同センター新産業育成課(099・2119・1272)まで。

後任は布袋室長が兼任

三橋総務部長が総務省転出

県は7月20日付けの人事異動を発表した。総務省に転出する三橋一彦総務部長の後任は、布袋嘉之知事公室長が総務部長を兼任する。

おくやみ情報をお寄せください

おくやみ

新聞掲載は無料です。毎週火曜日から土曜日(夏季・年末年始休暇および祝祭日の翌日を除く)に掲載します。会社の代表者ならびに社員にかかわらずどなたでも構いません。親族、身内の方もお相談ください。

お問い合わせ
099-227-5100